

# 平成20年度第4回高校生ものづくりコンテスト山形県大会旋盤作業部門 兼 高校生ものづくりコンテスト2008東北大会旋盤作業部門予選会

山形県立山形工業高等学校  
事務局 佐藤利昭

## 1 はじめに

6月21日(土)～22日(日)、山形市の雇用・能力開発機構山形センターにて、平成20年度第4回高校生ものづくりコンテスト山形県大会旋盤作業部門兼高校生ものづくりコンテスト2008東北大会旋盤作業部門予選会が開催された。21日に練習会、22日に競技が行われた。参加校は、米沢工、新庄神室産、酒田工、鶴岡工、山形工、長井工、東根工、寒河江工の計8校、8名の代表者で「全国ものづくりコンテスト」の課題と全く同じ課題で、寸法を百分の1ミリの寸法精度に仕上げる難しい加工に2時間半取り組んだ。



写真3 入賞者

今年度は課題が変わり、昨年度より難しい課題となったが、審査員の方からは昨年度同様、高得点、僅差での順位決定となり、工業高校の技術・技能のレベルも、昨年度より向上したとの講評をいただいた。



写真1 大会参加選手



写真2 大会風景

## 2 大会結果

大会結果は、以下の通りである。

優勝	須藤 太一 (長井工2年)	98点	時間 1:57'
2位	黒田 渉 (山形工3年)	95点	時間 2:02'
3位	伊藤 潤貴 (酒田工3年)	94点	時間 2:09'

以下、米沢工、新庄神室産、鶴岡工、東根工、寒河江工と続いた。

## 3 生徒のアンケート

### 1) 内容より

- ・ 先生から勧められて参加した生徒もいたが、技能検定の腕試し等の理由で、自分から進んで参加した生徒もいた。
- ・ 大会までの練習期間は2週間が2名、1ヶ月が4名、2ヶ月2名であった。
- ・ 製作個数は3個未満が2名、10個以内が1名、10個以上が5名いた。

### 2) 感想として、

- ・ 良い経験になった。ものづくりの大変さ、楽しさを実感することが出来た。
- ・ 緊張のあまり手順を間違えてしまった。
- ・ 来年は課題を克服して勝ちに行きたい。
- ・ 審査員、先生方が丁寧に接して下さって競技に参加しやすかった。

## 4 おわりに

会場の都合で県大会が6月になり、練習期間が短くて、参加校には大変迷惑をかけた。

優勝した、須藤太一君(長井工)と2位の黒田渉君(山形工)は、7月31日～8月1日、福島県で行われた東北大会に参加した。黒田渉君(山形工)は3位入賞を果たしたが、残念ながら全国大会(東北大会2位以内)に行くことはできなかった。しかし、1～3位とは僅差であったと聞いている。次年度に期待したい。